

## 舌圧子付き咬合紙ホルダー

|         |     |               |
|---------|-----|---------------|
| 主たる提供特許 | 出願者 | 国立大学法人長崎大学    |
|         | 題名  | 咬合紙ホルダー       |
|         | 番号  | 特願2018-514907 |

## 舌を押し込みながら咬合確認が可能

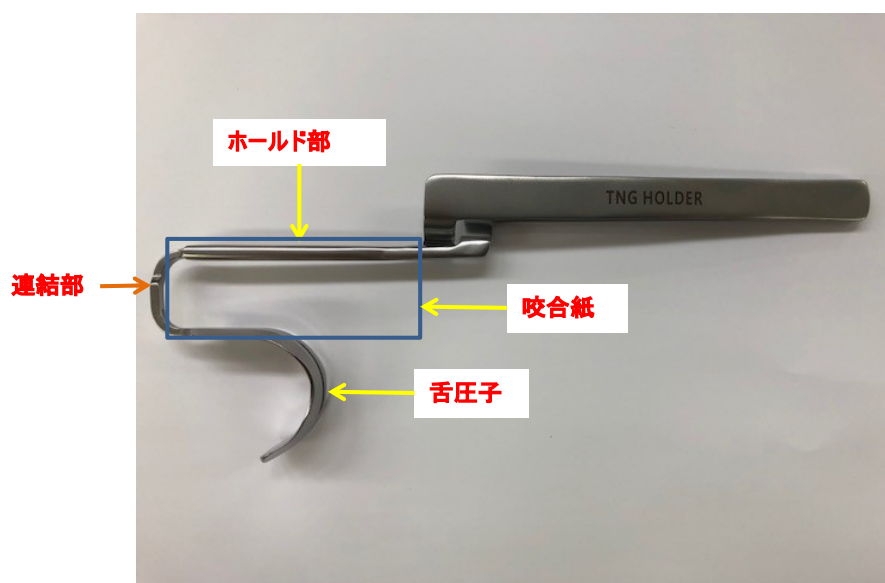
## 技術概要

## 発明の背景

歯科治療の際には歯列の噛み合わせ確認が必要であるが、全身麻酔もしくは静脈内鎮静法にて歯科治療を行う場合には、麻酔によって弛緩した舌が歯列より外側に、はみ出るためうまく行うことができない。そのため従来は医師以外に、患者の舌を押し込むための助手がサポートとして必要であった。

## 発明概要

咬合紙ホルダーの先端に、最奥臼歯の奥側で連結部を持つ舌圧子を付加した。咬合紙をホールド部と舌圧子との間で保持し、舌を押し込みながら咬合確認を行うことを可能とした。



## 特長

- ・舌圧子単独として使用可能。(従来の舌圧子よりも操作性が良く、印象採得時にも有効)
- ・通常の治療においても舌肥大や肥満傾向の人に有効。(手術効率の向上)

## 応用分野

## 適用例

- 全身麻酔, 静脈麻酔
- 舌肥大, 巨舌症
  - 先天性の場合: 筋繊維肥大症, 先天性リンパ管腫, ヘックウィズウィーデマン症候群, ダウン症候群, 末端肥大症等
  - 後天性の場合: 肥満, 血管腫, リンパ管腫, 神経繊維腫クレチン病, 粘液水腫, アミロイドーシス, 横紋筋腫, 甲状腺機能障害, 抗原病等
- 認知症など舌の不随意運動のある人
- 小顎症など口腔に対し相対的に舌の割合の大きい人

## 利用者へのメッセージ

(株)モリタより、『TNGホルダー』として販売中です。